

## 2017年度 自己点検・評価結果

### 基準1 理念・目的

文学部・文学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
 文学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	1-2U	【学部】 学部・学科ごとの「教育研究上の目的」が学則に 定められていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則	なし	年度初め
	1-2G	【研究科】 研究科・専攻ごとの「教育研究上の目的」が学則 に定められていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則	なし	年度初め
(2)	1-4U	【学部】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホーム ページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【学部】 学部パンフレット ( 2017 年度) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017/5/7 ) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:( 2017/5/7 ) 学部ホームページ	なし	年度初め
	1-4G	【研究科】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホーム ページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【研究科】 研究科パンフレット ( 年度) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017.5.20 ) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:( 2017.5.20 ) 研究科ホームページ	なし	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
 文学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	1-5U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体:教授会</p>	<p>【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )</p>	年度初め
	1-5G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会</p>	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )</p>	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
 文学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	1-6U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	×	<p>【学部】 第●回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会</p>	<p>【学部】委任先議題・議事録等 2017年度第2回フランス文学科分科会議事録(2017/5/10)委任先議題・議事録等 検証会議体:(比較芸術学科分科会)2016年度第7回分科会議事録および比較芸術学科規約 委任先議題・議事録等</p>	年度末
	1-6G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	×	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会</p>	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】委任先議題・議事録等 2017年度第2回フランス文学科分科会議事録(2017/5/10) 委任先議題・議事録等委任先議題・議事録等 検証会議体:(比較芸術学科分科会)2016年度第7回分科会議事録および比較芸術学科規約</p>	年度末

教育人間科学部・教育人間科学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェック 可能時期
(1)	1-2U	【学部】 学部・学科ごとの「教育研究上の目的」が学則に定められていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則	なし	年度初め
	1-2G	【研究科】 研究科・専攻ごとの「教育研究上の目的」が学則に定められていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則	なし	年度初め
(2)	1-4U	【学部】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホームページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【学部】 学部パンフレット (2016年度) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/06/03) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:(2017/06/03) 学部ホームページ	なし	年度初め
	1-4G	【研究科】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホームページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【研究科】 研究科パンフレット (2017年度) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017/05/30) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:(2017/05/30) 研究科ホームページ	なし	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 〔 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入 〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入 〕	チェック 可能時期
(3)	1-5U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性 など</p>	2017	○	<p>【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体:教授会</p>	【学部】	年度初め
	1-5G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性 など</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会</p>	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】	年度初め



自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 〔 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入 〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入 〕	チェック 可能時期
(4)	1-6U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性 など</p>	2017	○	【学部】 検証会議体: 教授会	【学部】 「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人間科学部教授会(2017/03/10)資料	年度末
	1-6G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性 など</p>	2017	○	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 検証会議体: 研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人間科学部教授会(2017/03/10)資料	年度末

経済学部・経済学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	1-2U	【学部】 学部・学科ごとの「教育研究上の目的」が学則に定められていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則	なし	年度初め
	1-2G	【研究科】 研究科・専攻ごとの「教育研究上の目的」が学則に定められていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則	なし	年度初め
(2)	1-4U	【学部】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホームページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【学部】 学部パンフレット ( 17 年度) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 17 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/5/10) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:(2017/5/10) 学部ホームページ	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
	1-4G	【研究科】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホームページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【研究科】 研究科パンフレット ( 17 年度) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 17 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017/5/10) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:(2017/5/10) 研究科ホームページ	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	1-5U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体:教授会</p>	<p>【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月10日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(学部自己点検委員会) 5/10確認</p>	年度初め
	1-5G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会</p>	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月10日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(学部自己点検委員会) 5/10確認</p>	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	1-6U	<p>【学部】                      学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点                      ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か                      ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか                      ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	従来から慣行に基づく運用がなされておりそれが規範として機能してきた。慣行という規範にもとづく柔軟な対応がなされてきたといえる。	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事録	年度末
	1-6G	<p>【研究科】                      研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点                      ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か                      ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか                      ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	従来から慣行に基づく運用がなされておりそれが規範として機能してきた。慣行という規範にもとづく柔軟な対応がなされてきたといえる。	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度末

法学部・法学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	1-2U	【学部】 学部・学科ごとの「教育研究上の目的」が学則に 定められていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則	なし	年度初め
	1-2G	【研究科】 研究科・専攻ごとの「教育研究上の目的」が学則 に定められていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則	なし	年度初め
(2)	1-4U	【学部】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホーム ページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【学部】 学部パンフレット ( 2017 年度 ) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017.04.01 ) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:( 2017.04.01. ) 学部ホームページ	なし	年度初め
	1-4G	【研究科】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホーム ページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【研究科】 研究科パンフレット ( 2017 年度 ) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017.04.01 ) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:(2017.04.01 ) 研究科ホームページ	なし	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	1-5U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体:教授会</p>	<p>【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )</p>	年度初め
	1-5G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会</p>	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )</p>	年度初め



自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	1-6U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	×	<p>【学部】 第●回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会</p>	<p>【学部】 委任先議題・議事録等</p>	年度末
	1-6G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	×	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会</p>	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等</p>	年度末

経営学部・経営学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	1-2U	【学部】 学部・学科ごとの「教育研究上の目的」が学則に 定められていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則	なし	年度初め
	1-2G	【研究科】 研究科・専攻ごとの「教育研究上の目的」が学則 に定められていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則	なし	年度初め
(2)	1-4U	【学部】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホーム ページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【学部】 学部パンフレット ( 2017 年度) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017年6月6日) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:(2017年6月6日) 学部ホームページ	なし	年度初め
	1-4G	【研究科】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホーム ページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【研究科】 研究科パンフレット ( 2017 年度) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年6月6日) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:(2017年6月6日) 研究科ホームページ	なし	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	1-5U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体:教授会</p>	<p>【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )</p>	年度初め
	1-5G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会</p>	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )</p>	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	1-6U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	×	<p>【学部】 2016年度第13回・第14回教授会で決定後変更なし。議題・議事録等 検証会議体:教授会</p>	<p>【学部】 委任先議題・議事録等</p>	年度末
	1-6G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	×	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 2016年度第11回・第12回研究科教授会にて決定後、訂正なし。議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会</p>	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等</p>	年度末

国際政治経済学部・国際政治経済学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	1-2U	【学部】 学部・学科ごとの「教育研究上の目的」が学則に 定められていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則	なし	年度初め
	1-2G	【研究科】 研究科・専攻ごとの「教育研究上の目的」が学則 に定められていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則	なし	年度初め
(2)	1-4U	【学部】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホーム ページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【学部】 『青山学院大学学則』(38頁) 別記(第4条の2関係)「学部 又は学科の教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/data/pdf/daigaku_gakusoku2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/outline/data/pdf/daigaku_gakusoku2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/15) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/sippec/objective.html#anchor_purpose">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/sippec/objective.html#anchor_purpose</a> 確認日:(2017/5/15) 学部ホームページ <a href="http://www.sippec.aoyama.ac.jp/about/rinen.html">http://www.sippec.aoyama.ac.jp/about/rinen.html</a> 確認日:(2017/5/15)	なし	年度初め
	1-4G	【研究科】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホーム ページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【研究科】 『青山学院大学大学院学則』(32頁)別記(第5条の2関係) 「研究科又は専攻の教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/data/pdf/daigakuin_gakusoku2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/outline/data/pdf/daigakuin_gakusoku2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/15) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_sippec/objective.html#anchor_purpose">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_sippec/objective.html#anchor_purpose</a> 確認日:(2017/5/15)	なし	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	1-5U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体:教授会</p>	<p>【学部】 委任に関する申し合わせ等:2016年5月25日付2016年度国際政治経済学部第3回教授会協議事項2. 左記検証会議体からの委任先:主任会 手続:2016年6月8日付2016年度第4回国際政治経済学部・研究科主任会議題2.「青山学院大学国際政治経済学部・研究科主任会における自己点検・評価の検証事項に関する手続(案)」</p>	年度初め
	1-5G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会</p>	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等:2016年5月25日付2016年度国際政治経済学研究科第3回教授会協議事項5. 左記検証会議体からの委任先:主任会 手続:2016年6月8日付2016年度第4回国際政治経済学部・研究科主任会議題2.「青山学院大学国際政治経済学部・研究科主任会における自己点検・評価の検証事項に関する手続(案)」</p>	年度初め



自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	1-6U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○		<p>【学部】 2017年度第17回国際政治経済学部・研究科主任会記録議題2.「自己点検・評価の証事項に関する回答(案)」別添参考資料2</p>	年度末
	1-6G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○		<p>【学部】 2017年度第17回国際政治経済学部・研究科主任会記録議題2.「自己点検・評価の証事項に関する回答(案)」別添参考資料2</p>	年度末

総合文化政策学部・総合文化政策学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	1-2U	【学部】 学部・学科ごとの「教育研究上の目的」が学則に定められていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則	なし	年度初め
	1-2G	【研究科】 研究科・専攻ごとの「教育研究上の目的」が学則に定められていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則	なし	年度初め
(2)	1-4U	【学部】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホームページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【学部】 学部パンフレット ( 年度 ) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( ) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 ) 学部ホームページ	なし	年度初め
	1-4G	【研究科】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホームページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【研究科】 研究科パンフレット ( 年度 ) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( ) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 ) 研究科ホームページ	なし	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	1-5U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体:教授会</p>	<p>【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月25日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( 総合文化政策学部・研究科合同主任会 )</p>	年度初め
	1-5G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会</p>	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月25日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( 総合文化政策学部・研究科合同主任会 )</p>	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	1-6U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【学部】 第17回教授会議議事録等 検証会議体:教授会</p>	<p>【学部】 委任先議事録等</p>	年度末
	1-6G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 第●回研究科教授会議議事録等 検証会議体:研究科教授会 (第17回学部教授会で研究科分も実施)</p>	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任先議事録等</p>	年度末

理工学部・理工学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会  
担当部署/担当者: 学務部  
評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	1-2U	【学部】 学部・学科ごとの「教育研究上の目的」が学則に 定められていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則	なし	年度初め
	1-2G	【研究科】 研究科・専攻ごとの「教育研究上の目的」が学則 に定められていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則	なし	年度初め
(2)	1-4U	【学部】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホーム ページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【学部】 学部パンフレット (2017年度) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017年5月1日) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:(2017/05/15) 学部ホームページ		年度初め
	1-4G	【研究科】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホーム ページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【研究科】 研究科パンフレット (2017年度) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年4月19日) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:(2017年04月19日) 研究科ホームページ		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会  
担当部署/担当者: 学務部  
評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	1-5U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体:教授会</p>	<p>【学部】 委任に関する申し合わせ等 2016年5月11日付承認 左記検証会議体からの委任先 学部全体:主任会議</p>	年度初め
	1-5G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会</p>	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 2016年5月11日付承認 左記検証会議体からの委任先 専攻全体:コース教務主任会議</p>	年度初め



自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会  
担当部署/担当者: 学務部  
評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	1-6U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【学部】 第8回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会 2017年9月27日</p>	<p>【学部】 委任先議題・議事録等 学科主任会:2017年9月26日</p> <p>物数:記載なし 化生:記載なし 電気:第15回 平成29年11月29日 機械創造:第18回教室会議メモ2018/3/8 経シス:第16回学科会議議事録:2017年1月17日 情テク:学科としては議論していない</p>	年度末
	1-6G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 第9回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会 2017年9月27日</p>	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等 第7回専攻コース主任会 2017年10月4日</p> <p>基礎科学:記載なし 化学:コース会議メモ20170226 機能物質:記載なし 生命科学:記載なし 電気:第15回 平成29年11月29日 機械創造:第18回教室会議メモ2018/3/8 マネテク:第16回学科会議議事録:2017年1月17日 知能情報:コースとしては議論していない</p>	年度末

社会情報学部・社会情報学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェック 可能時期
(1)	1-2U	【学部】 学部・学科ごとの「教育研究上の目的」が学則に 定められていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則	なし	年度初め
	1-2G	【研究科】 研究科・専攻ごとの「教育研究上の目的」が学則 に定められていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則	なし	年度初め
(2)	1-4U	【学部】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホーム ページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【学部】 学部パンフレット ( 2017 年度 ) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017/04/13 ) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:( 2017/04/13 ) 学部ホームページ	学部 学部ホームページ「教育の特色」 <a href="http://www.si.aoyama.ac.jp/curriculum/index">http://www.si.aoyama.ac.jp/curriculum/index</a> 学部ホームページ「学部の特色」 <a href="http://www.si.aoyama.ac.jp/faculty/index">http://www.si.aoyama.ac.jp/faculty/index</a> 確 認日:( 2017/06/05)	年度初め
	1-4G	【研究科】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホーム ページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【研究科】 研究科パンフレット ( 2017 年度 ) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017年4月29日 ) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html#anchor_02">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html#anchor_02</a> 確認日:( 2017年4月29日 ) 研究科ホームページ	なし	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	1-5U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体:教授会</p>	<p>【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )</p>	年度初め
	1-5G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会</p>	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )</p>	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	1-6U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【学部】 第7回教授会議題・議事録等 第11回教授会議題・議事録等 第20回教授会議題・議事録等 FD研修会 検証会議体: 教授会、FD委員会</p>	<p>【学部】 委任先議題・議事録等</p>	年度末
	1-6G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 第7回教授会議題・議事録等 第11回教授会議題・議事録等 第20回教授会議題・議事録等 FD研修会 検証会議体: 教授会、FD委員会</p>	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等</p>	年度末

地球社会共生学部

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 地球社会共生学部自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(1)	1-2U	【学部】 学部・学科ごとの「教育研究上の目的」が学則に 定められていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則	なし	年度初め
(2)	1-4U	【学部】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホーム ページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【学部】 学部パンフレット (2016年度) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/04/18) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:(2017/04/18) 学部ホームページ	なし	年度初め
(3)	1-5U	【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適 切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会 等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める 大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしてい るか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2016年4月20日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(主任会 )	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 地球社会共生学部自己点検・評価委員会

担当部署/担当者： 学務課(相)

評価基準： 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(4)	1-6U	<p>【学部】 学部の理念・目的(「教育研究上の目的」)の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第83条や大学基準協会の定める大学基準等に照らして適切か ・学部の目指すべき方向性等を明らかにしているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性など</p>	2017	○	<p>【学部】 第3回教授会議題・議事録等 検証会議体：教授会</p>	<p>【学部】 委任先議題・議事録等 第3回主任会(2017年5月24日) 「地球社会共生学部自己点検評価に関する主任会の検証事項と検証手続きについて」</p>	年度末



国際マネジメント研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	1-2G	【研究科】 研究科・専攻ごとの「教育研究上の目的」が学則 に定められていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則	なし	年度初め
(2)	1-4G	【研究科】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホーム ページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【研究科】 研究科パンフレット ( 2017 年度) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017/5/31 ) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:( 2017/5/31 ) 研究科ホームページ	なし	年度初め
(3)	1-5G	【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の 適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員 会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める 大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにして いるか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性 など	2017	○	【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第10号 検証会議体:研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会	【専門職】 2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議 事録 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員 会)  【博士後期・一貫制博士】 2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議 事録 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 :国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者： 学務部

評価基準： 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	1-6G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の 適切性(※)は、明文化された手続きに従って定 期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める 大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにして いるか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性 など</p>	2017	○	<p>【専門職】 第3回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体：研究科教授会</p> <p>【博士後期・一貫制博士】 第3回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体：研究科教授会</p>	<p>【専門職】 2018年度第2回国際マネジメント研究科教授会議 事録 委任に関する申し合わせ等 ：2018年5月23日付承認 左記検証会議体からの委任先 ：(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員 会)</p> <p>【博士後期・一貫制博士】 2018年度第2回国際マネジメント研究科教授会議 事録 委任に関する申し合わせ等 ：2018年5月23日付承認 左記検証会議体からの委任先 ：(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員 会)</p>	年度末

# 法務研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法務研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部専門職大学院教務課

評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	1-2G	【研究科】 研究科・専攻ごとの「教育研究上の目的」が学則 に定められていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則	なし	年度初め
(2)	1-4G	【研究科】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホーム ページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【研究科】 研究科パンフレット ( 2017 年度 ) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 6/5 ) 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html</a> 確認日:( 6/5 )	法科大学院要覧(2017年度)	年度初め
(3)	1-5G	【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の 適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員 会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める 大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにして いるか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性 など	2017	○	【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第10号 検証会議体:研究科教授会	【専門職】 青山学院大学大学院法務研究科主任会規程 検証会議体:( 法務研究科主任会 )	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法務研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部専門職大学院教務課

評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	1-6G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の 適切性(※)は、明文化された手続きに従って定 期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める 大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにし ているか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性 など</p>	2017	○		<p>【研究科】 検証会議体:( 法務研究科主任会 )</p>	年度末

会計プロフェッション研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	1-2G	【研究科】 研究科・専攻ごとの「教育研究上の目的」が学則 に定められていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則		年度初め
(2)	1-4G	【研究科】 「教育研究上の目的」は、公的な刊行物、ホーム ページ等によって周知・公表されていますか。	2017	○	【研究科】 「研究科案内2016」2ページ 大学ホームページ「教育研究上の目的」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/purpose.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ purpose.html</a> 確認日:(2017年5月18日) 研究科ホームページ 入学試験要項(2017年度)(専門職および博士後期課程)		年度初め
(3)	1-5G	【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の 適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員 会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める 大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにして いるか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性 など	2017	○	【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第10号 検証会議体:研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会		年度初め



自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	1-6G	<p>【研究科】 研究科の理念・目的(「教育研究上の目的」)の 適切性(※)は、明文化された手続きに従って定 期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・学校教育法第99条や大学基準協会の定める 大学基準等に照らして適切か ・研究科の目指すべき方向性等を明らかにして いるか ・大学の理念・目的や社会の要請との適合性 など</p>	2017	○	<p>【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第10号 2017年度第3回研究科教授会協議事項4・5、2017年度第6 回研究科教授会協議事項4 検証会議体:研究科教授会</p> <p>【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会</p>	<p>【専門職】 「青山学院大学会計プロフェッション研究科2017 年度自己点検評価報告書」 2017年度第2回教員FD研修会(2018年3月24日)</p> <p>【博士後期・一貫制博士】 「青山学院大学会計プロフェッション研究科2017 年度自己点検評価報告書」</p>	年度末

大学宗教主任会

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 大学宗教主任会

担当部署/担当者: 宗教センター、宗教センター相模原分室

評価基準: 1(理念・目的)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※両キャンパスができて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	1-3W2	【大学全体】 「建学の精神」を、大学構成員(教職員および学生)に周知するための取り組みを行いましたか。	2017	○		大学礼拝週報 学院礼拝(新年礼拝、新学年度礼拝、創立記念礼拝)ホームページ総合案内「2017年度ニュース一覧」 クリスマス献金 <a href="https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/christ/2017Christmas_kenkin_houkoku.pdf">https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/christ/2017Christmas_kenkin_houkoku.pdf</a> キリスト教学校教育同盟発行の新聞「キリスト教学校教育」 キリスト教学校教育同盟主催の教員、事務向けの研修要項	年度末

## 2017年度 自己点検・評価結果

### 基準2 教育研究組織

文学部・文学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
 文学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	2-2U	【学部】 学科および附置研究所・センター等の教育研究組織は、学部の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」 確認日:(2017.5.7)		年度初め
	2-2G	【研究科】 専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、研究科の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学学則 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」確認日: (2017.6.4)		年度初め
	2-3U1	【学部】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	2-3G1	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
 文学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	2-3U2	<p>【学部】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された 手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理 念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など</p>	2017	○	<p>【学部】 第●回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会</p>	<p>【学部】 委任先議題・議事録等:2017年度第2回フランス文 学科議事録(2017/5/10)2017年度に史学科は考 古学コースに関する人事2件を行ったが、その際 に教育研究組織の適切性は考慮された。</p>	年度末
	2-3G2	<p>【研究科】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された 手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理 念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など</p>	2017	×	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会</p>	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等委任先議題・議事録等: 2017年度第2回フランス文学科議事録 (2017/5/10)2017年度に史学科は考古学コース に関する人事2件を行ったが、その際に教育研究 組織の適切性は考慮された。</p>	年度末

教育人間科学部・教育人間科学研究科



自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者： 学務部  
 評価基準： 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	2-2U	【学部】 学科および附置研究所・センター等の教育研究組織は、学部の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」		年度初め
	2-2G	【研究科】 専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、研究科の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学学則 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」		年度初め
	2-3U1	【学部】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体:教授会	【学部】	年度初め
	2-3G1	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者： 学務部  
 評価基準： 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	2-3U2	【学部】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された手続き に従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、学 部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	×	【学部】 検証会議体：教授会	【学部】	年度末
	2-3G2	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された手続き に従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、研 究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	×	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 検証会議体：研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】	年度末

経済学部・経済学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	2-2U	【学部】 学科および附置研究所・センター等の教育研究組織は、学部の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
	2-2G	【研究科】 専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、研究科の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学学則 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
	2-3U1	【学部】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体: 教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月10日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(学部自己点検委員会) 5/10確認	年度初め
	2-3G1	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体: 研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月10日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(学部自己点検委員会) 5/10確認	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	2-3U2	【学部】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された 手続きに従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理 念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	従来から慣行に基づく柔軟な運用がなされており、それが 規範として確立していた。	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事 録	年度末
	2-3G2	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された 手続きに従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理 念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	従来から慣行に基づく柔軟な運用がなされており、それが 規範として確立していた。	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事 録	年度末

法学部・法学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	2-2U	【学部】 学科および附置研究所・センター等の教育研究組織は、学部の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」		年度初め
	2-2G	【研究科】 専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、研究科の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学学則 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」		年度初め
(2)	2-3U1	【学部】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	2-3G1	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	2-3U2	【学部】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された 手続きに従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理 念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	×	【学部】 第●回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	2-3G2	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された 手続きに従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理 念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	×	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等	年度末



経営学部・経営学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	2-2U	【学部】 学科および附置研究所・センター等の教育研究組織は、学部の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」		年度初め
	2-2G	【研究科】 専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、研究科の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	×	【研究科】 青山学院大学学則 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」		年度初め
	2-3U1	【学部】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体: 教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 : ●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	2-3G1	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体: 研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 : ●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	2-3U2	【学部】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された 手続きに従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理 念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	×	【学部】 第●回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	2-3G2	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された 手続きに従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理 念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	×	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等	年度末

国際政治経済学部・国際政治経済学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	2-2U	【学部】 学科および附置研究所・センター等の教育研究組織は、学部の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【学部】 『青山学院大学国際政治経済学部附置国際研究センター要綱』 <a href="https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/soumu/JoureiV5HTMLContents/act/frame/frame110000187.htm">https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/soumu/JoureiV5HTMLContents/act/frame/frame110000187.htm</a> 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 <a href="https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/d-gakuchou/jikotenkenhyouka/shiryoushu/shiryo2017/1.shomuka/shomuka1.pdf">https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/d-gakuchou/jikotenkenhyouka/shiryoushu/shiryo2017/1.shomuka/shomuka1.pdf</a> 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」 <a href="https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/d-gakuchou/jikotenkenhyouka/shiryoushu/shiryo2017/1.shomuka/shomuka1.pdf">https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/d-gakuchou/jikotenkenhyouka/shiryoushu/shiryo2017/1.shomuka/shomuka1.pdf</a>		年度初め
	2-2G	【研究科】 専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、研究科の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 <a href="https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/d-gakuchou/jikotenkenhyouka/shiryoushu/shiryo2017/1.shomuka/shomuka1.pdf">https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/d-gakuchou/jikotenkenhyouka/shiryoushu/shiryo2017/1.shomuka/shomuka1.pdf</a> 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」 <a href="https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/d-gakuchou/jikotenkenhyouka/shiryoushu/shiryo2017/1.shomuka/shomuka1.pdf">https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/d-gakuchou/jikotenkenhyouka/shiryoushu/shiryo2017/1.shomuka/shomuka1.pdf</a>		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	2-3U1	【学部】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体: 教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等: 2016年5月25日付 2016年度国際政治経済学部第3回教授会協議事項2. 左記検証会議体からの委任先: 主任会 手続: 2016年6月8日付2016年度第4回国際政治経済学部・研究科主任会議題2.「青山学院大学国際政治経済学部・研究科主任会における自己点検・評価の検証事項に関する手続(案)」	年度初め
	2-3G1	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体: 研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等: 2016年5月25日付 2016年度国際政治経済学部第3回教授会協議事項5. 左記検証会議体からの委任先: 主任会 手続: 2016年6月8日付2016年度第4回国際政治経済学部・研究科主任会議題2.「青山学院大学国際政治経済学部・研究科主任会における自己点検・評価の検証事項に関する手続(案)」	年度初め
	2-3U2	【学部】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○		【学部】 2017年度第17回国際政治経済学部・研究科主任会記録議題2.「自己点検・評価の証事項に関する回答(案)」別添参考資料2	年度末
	2-3G2	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○		【学部】 2017年度第17回国際政治経済学部・研究科主任会記録議題2.「自己点検・評価の証事項に関する回答(案)」別添参考資料2	年度末

総合文化政策学部・総合文化政策学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	2-2U	【学部】 学科および附置研究所・センター等の教育研究組織は、学部の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」	青山学院大学総合文化政策学部附置青山コミュニティ・ラボ規則	年度初め
	2-2G	【研究科】 専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、研究科の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学学則 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」	青山学院大学総合文化政策学部附置青山コミュニティ・ラボ規則	年度初め
(2)	2-3U1	【学部】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月25日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( 総合文化政策学部・研究科合同主任会 )	年度初め
	2-3G1	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月25日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( 総合文化政策学部・研究科合同主任会 )	年度初め
	2-3U2	【学部】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【学部】 第17回教授会議議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末



自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	2-3G2	<p>【研究科】                      教育研究組織の適切性(※)は、明文化された                      手続きに従って定期的に検証されましたか。</p> <p>※適切性の視点                      ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理                      念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性                      ・学術の進展や社会の要請との適合性 など</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】                      第●回研究科教授会議題・議事録等                      検証会議体:研究科教授会                      (第17回学部教授会で研究科分も実施)</p>	<p>【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】                      委任先議題・議事録等</p>	年度末

理工学部・理工学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会  
担当部署/担当者: 学務課(相)  
評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	2-2U	【学部】 学科および附置研究所・センター等の教育研究組織は、学部の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」		年度初め
	2-2G	【研究科】 専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、研究科の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学学則 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」	機能物質創成:コース会議付議事録 2017年5月17日	年度初め
(2)	2-3U1	【学部】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 2016年5月11日付承認 左記検証会議体からの委任先 主任会議	年度初め
	2-3G1	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 2016年5月11日付承認 左記検証会議体からの委任先 専攻コース教務主任会	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会  
担当部署/担当者: 学務課(相)  
評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	2-3U2	【学部】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された 手続きに従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理 念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【学部】 第8回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会 2017年9月27日	【学部】 委任先議題・議事録等 主任会議 2017年10月17日	年度末
	2-3G2	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された 手続きに従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理 念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 第12回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会 2017年11月8日	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等 専攻コース教務主任会 2017年11月8日	年度末

社会情報学・社会情報学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	2-2U	【学部】 学科および附置研究所・センター等の教育研究組織は、学部の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」		年度初め
	2-2G	【研究科】 専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、研究科の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学学則 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」		年度初め
(2)	2-3U1	【学部】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体: 教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 : ●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	2-3G1	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体: 研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 : ●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	2-3U2	【学部】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された 手続きに従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理 念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【学部】 第20回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	2-3G2	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された 手続きに従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理 念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 第20回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:学部教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等	年度末

地球社会共生学部



自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 地球社会共生学部自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(1)	2-2U	【学部】 学科および附置研究所・センター等の教育研究組織は、学部の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課1 教育・研究組織」 学部HP(学部紹介) <a href="http://www.gsc.aoyama.ac.jp/introduction/">http://www.gsc.aoyama.ac.jp/introduction/</a> 確認日:(2017/04/18) 学部パンフレット(2016年度)		年度初め
(2)	2-3U1	【学部】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第11号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2016年4月20日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(主任会 )	年度初め
	2-3U2	【学部】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、学部の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【学部】 第8回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会 「2017年度後期諸委員(案)について」(2017/07/26)	【学部】 委任先議題・議事録等 第8回主任会(2017/07/26)	年度末

国際マネジメント研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部  
評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	2-2G	【研究科】 専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、研究科の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学学則 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」		年度初め
(2)	2-3G1	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第10号 検証会議体:研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体:研究科教授会	【専門職】 2017年度第2回国際マネジメント教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)  【博士後期・一貫制博士】 2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 :国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)	年度初め
	2-3G2	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【専門職】 2018年度第3回研究科教授会議事録等 検証会議体:研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 2018年度第3回国際マネジメント教授会議事録	【専門職】 2018年度第2回国際マネジメント研究科教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 2018年5月23日承認 左記検証会議体からの委任先 (国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)  【博士後期・一貫制博士】 2018年度第2回国際マネジメント研究科教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 2018年5月23日承認 左記検証会議体からの委任先 (国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)	年度末

# 法務研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 法務研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者： 学務部専門職大学院教務課

評価基準： 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	2-2G	【研究科】 専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、研究科の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学専門職大学院学則 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」		年度初め
(2)	2-3G1	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第10号 検証会議体：研究科教授会	【専門職】 左記検証会議体からの委任先：( 法務研究科主任会 )	年度初め
	2-3G2	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証されましたか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○			年度末

会計プロフェッション研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 2(教育研究組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	2-2G	【研究科】 専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、研究科の「教育研究上の目的」を実現するためにふさわしい組織となっていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学学則 青山学院大学大学院学則 青山学院大学専門職大学院学則 各研究所・センター規則・要綱など 大学資料集「庶務課1 設置学部・学科・大学院研究科」 大学資料集「庶務課2 教育・研究組織」	【研究科】 青山学院大学大学院会計プロフェッション研究会会則 青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科 附置会計プロフェッション研究センター規則	年度初め
(2)	2-3G1	【研究科】 教育研究組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・「青山学院教育方針」や「青山学院大学の理念」、研究科の「教育研究上の目的」との適合性 ・学術の進展や社会の要請との適合性 など	2017	○	【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第10号 検証会議体: 研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第7号 検証会議体: 研究科教授会		年度初め

2017年度 自己点検・評価結果

基準3 教員・教員組織



文学部・文学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
 文学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	3-2U	【学部】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確に されていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学職制規則 確認日:(2017.5.7)		年度初め
	3-2G	【研究科】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確に されていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学職制規則 その他 研究科独自の内規、とりきめ等 確認日: (2017.6.4)		年度初め
(2)	3-4U	【学部】 学部の教育研究上の目的を実現するために、学 部の教員組織の編制方針が定められ、かつ教 職員で共有していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a> 確認日:(2017.5.7)		年度初め
	3-4G	【研究科】 研究科の教育研究上の目的を実現するために、 研究科の教員組織の編制方針が定められ、か つ教職員で共有していますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a> 確認日:(2017.6.4)		年度初め
(3)	3-5U	【学部】 法令(大学設置基準等)によって定められた学科 ごとに必要な専任教員数等が把握され、その数 は満たされていますか。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課6 学部の教員組織」確認日: (2017.5.7)		年度初め
	3-5G	【研究科】 法令(大学院設置基準、専門職大学院設置基準 等)によって定められた専攻ごとに必要な専任教 員数等が把握され、その数は満たされています か。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課7 ★大学院研究科の教員組織」 大学資料集「庶務課8 ★専門職大学院の教員組織」確認 日:(2017.6.4)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
 文学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	3-7U	【学部】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学設置基準第7条第3項(大学は、教育研 究水準の維持向上及び教育研究の活性化を 図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著 しく偏ることのないよう配慮するものとする。)を踏 まえていること。	2017	×	【学部】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/">http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/</a> 確認日:(2017.5.7)		年度初め
	3-7G	【研究科】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学院設置基準第8条第5項(大学院は、教育 研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を 図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に 著しく偏ることのないよう配慮するものとする。 をふまえていること。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/">http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/</a> 確認日:( 2017.5.20 )		年度初め
(6)	3-8U1	【学部】 教員の募集・採用について、学部独自の基準、 手続がある場合、それが明文化され、その適切 性・透明性が担保されるように取り組みまし たか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等		年度末
	3-8G1	【研究科】 教員の募集・採用について、研究科独自の基 準、手続がある場合、それが明文化され、その 適切性・透明性が担保されるように取り組みまし たか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
 文学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	3-8U2	【学部】 教員の昇格について、学部独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等		年度末
	3-8G2	【研究科】 教員の昇格について、研究科独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等	史学科では、2017年度第17回分科会(2018/1/17)にて内規について検討した。	年度末
(7)	3-10U	【学部】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の教育研究活動の業績を適切に評価する仕組みが機能しましたか。	2017	○		史学科では学科フォーラム(教員の研究報告)の実施や青山学院の学術賞への推薦、昇任人事の審査などが、教員個々人の研究活動の業績評価に該当すると思われる。	年度末
	3-10G	【研究科】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の教育研究活動の業績を適切に評価する仕組みが機能しましたか。	2017	○		史学科では学科フォーラム(教員の研究報告)の実施や青山学院の学術賞への推薦、昇任人事の審査などが、教員個々人の研究活動の業績評価に該当すると思われる。	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
 文学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(8)	3-11U1	【学部】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第14条第4項 検証会議体:専任教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	3-11G1	【研究科】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第77条第1項第1号および第2号 検証会議体:博士前期課程委員会/修士課程委員会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第1号および第2号 検証会議体:博士後期課程委員会/博士課程委員会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )  【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	3-11U2	【学部】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	×	【学部】 第●回専任教授会議題・議事録等 検証会議体:専任教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	3-11G2	【研究科】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	×	【修士・博士前期】 第●回議題・議事録等 検証会議体:博士前期課程委員会/修士課程委員会  【博士後期・一貫制博士】 第●回議題・議事録等 検証会議体:博士後期課程委員会/博士課程委員会	【修士・博士前期】 委任先議題・議事録等  【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
 文学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(9)	3-12U	<p>【学部】 学部の教員組織の編制方針は適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など</p>	2017	○		<p>文学部ホームページ「教員組織の編成方針」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html/literature 確認日:(2017.5.7)</p>	年度初め
	3-12G	<p>【研究科】 研究科の教員組織の編制方針は適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など</p>	2017	○		<p>文学研究科ホームページ「教員組織の編成方針」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html/literature 確認日:(2017.6.4)</p>	年度初め

教育人間科学部・教育人間科学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	3-2U	【学部】 組織的な教育を実施する上において必要な役職や諸委員が配置され、その責任の所在が明確にされていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学職制規則 その他 学部独自の内規、とりきめ等	第19回教育人間科学部教授会(2017年3月10日)記録	年度初め
	3-2G	【研究科】 組織的な教育を実施する上において必要な役職や諸委員が配置され、その責任の所在が明確にされていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学職制規則 その他 研究科独自の内規、とりきめ等	第19回教育人間科学部教授会(2017年3月10日)資料	年度初め
(2)	3-4U	【学部】 学部の教育研究上の目的を実現するために、学部の教員組織の編制方針が定められ、かつ教職員で共有していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a> 確認日:(2017/06/03)		年度初め
	3-4G	【研究科】 研究科の教育研究上の目的を実現するために、研究科の教員組織の編制方針が定められ、かつ教職員で共有していますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制方針」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a> 確認日:(2017/5/30)	学部と同じ	年度初め



自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	3-5U	【学部】 法令(大学設置基準等)によって定められた学科ごとに必要な専任教員数等が把握され、その数は満たされていますか。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課6 学部の教員組織」		年度初め
	3-5G	【研究科】 法令(大学院設置基準、専門職大学院設置基準等)によって定められた専攻ごとに必要な専任教員数等が把握され、その数は満たされていますか。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課7 ★大学院研究科の教員組織」 大学資料集「庶務課8 ★専門職大学院の教員組織」		年度初め
(5)	3-7U	【学部】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制実態と整合性がとれていますか。  ※大学設置基準第7条第3項(大学は、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著しく偏ることのないよう配慮するものとする。)を踏まえていること。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/">http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/</a> 確認日:( )	「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人間科学部教授会(2017年3月10日)資料	年度初め
	3-7G	【研究科】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制実態と整合性がとれていますか。  ※大学院設置基準第8条第5項(大学院は、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著しく偏ることのないよう配慮するものとする。)をふまえていること。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/">http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/</a> 確認日:(2017.6.1)	「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人間科学部教授会(2017年3月10日)資料	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェック 可能時期
(6)	3-8U1	【学部】 教員の募集・採用について、学部独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるように取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等		年度末
	3-8G1	【研究科】 教員の募集・採用について、研究科独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるように取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等		年度末
	3-8U2	【学部】 教員の昇格について、学部独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	×	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等	教育学科 「昇任人事に関する教育学科内部審査の原則」	年度末
	3-8G2	【研究科】 教員の昇格について、研究科独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	×	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等	教育学科 「昇任人事に関する教育学科内部審査の原則」	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェック 可能時期
(7)	3-10U	【学部】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の教育 研究活動の業績を適切に評価する仕組みが機能しま したか。	2017	×		「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人 間科学部教授会(2017年3月10日)資料	年度末
	3-10G	【研究科】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の教育 研究活動の業績を適切に評価する仕組みが機能しま したか。	2017	×		「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人 間科学部教授会(2017年3月10日)資料	年度末
(8)	3-11U1	【学部】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体 (委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合 性 など	2017	○	【学部】 大学学則第14条第4項 検証会議体:専任教授会	【学部】	年度初め
	3-11G1	【研究科】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体 (委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合 性 など	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第77条第1項第1号および第2号 検証会議体:博士前期課程委員会/修士課程委員会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第1号および第2号 検証会議体:博士後期課程委員会/博士課程委員会	【研究科】【博士後期・一貫制博士】	年度初め
	3-11U2	【学部】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につな がっていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合 性 など	2017	×	【学部】 検証会議体:専任教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	3-11G2	<p>【研究科】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など</p>	2017	×	<p>【修士・博士前期】 検証会議体: 博士前期課程委員会/修士課程委員会</p> <p>【博士後期・一貫制博士】 検証会議体: 博士後期課程委員会/博士課程委員会</p>	<p>【修士・博士前期】 委任先議題・議事録等</p> <p>【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等</p>	年度末
(9)	3-12U	<p>【学部】 学部の教員組織の編制方針は適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	×		第19回教育人間科学部教授会(2017年3月10日)資料	年度初め
	3-12G	<p>【研究科】 研究科の教員組織の編制方針は適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	×			年度初め

経済学部・経済学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	3-2U	【学部】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確に されていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学職制規則 その他 学部独自の内規、とりきめ等2017/5/10確認	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め
	3-2G	【研究科】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確に されていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学職制規則 その他 研究科独自の内規、とりきめ等 2017/5/10確認	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め
(2)	3-4U	【学部】 学部の教育研究上の目的を実現するために、学 部の教員組織の編制方針が定められ、かつ教 職員で共有していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a> 2017/5/10確認	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め
	3-4G	【研究科】 研究科の教育研究上の目的を実現するために、 研究科の教員組織の編制方針が定められ、か つ教職員で共有していますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a> 2017/5/10確認	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	3-5U	【学部】 法令(大学院設置基準等)によって定められた学科ごとに必要な専任教員数等が把握され、その数は満たされていますか。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課6 学部の教員組織」2017/5/10確認	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
	3-5G	【研究科】 法令(大学院設置基準、専門職大学院設置基準等)によって定められた専攻ごとに必要な専任教員数等が把握され、その数は満たされていますか。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課7 ★大学院研究科の教員組織」 大学資料集「庶務課8 ★専門職大学院の教員組織」 2017/5/10確認	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
(5)	3-7U	【学部】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制実態と整合性がとれていますか。  ※大学設置基準第7条第3項(大学は、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著しく偏ることのないよう配慮するものとする。)を踏まえていること。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/">http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
	3-7G	【研究科】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制実態と整合性がとれていますか。  ※大学院設置基準第8条第5項(大学院は、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著しく偏ることのないよう配慮するものとする。)をふまえていること。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/">http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	3-8U1	【学部】 教員の募集・採用について、学部独自の基準、 手続がある場合、それが明文化され、その適切 性・透明性が担保されるよう取り組みました か。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 人事委員会を立ち上げ、必要な公募要項を定め、適切に 運用している。	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事 録	年度末
	3-8G1	【研究科】 教員の募集・採用について、研究科独自の基 準、手続がある場合、それが明文化され、その 適切性・透明性が担保されるよう取り組みまし たか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 人事委員会を立ち上げ、必要な公募要項を定め、適切に 運用している。	1第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議 事録	年度末
	3-8U2	【学部】 教員の昇格について、学部独自の基準、手続が ある場合、それが明文化され、その適切性・透明 性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等 2018/6/6確認	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事 録	年度末
	3-8G2	【研究科】 教員の昇格について、研究科独自の基準、手続 がある場合、それが明文化され、その適切性・透 明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等 2017/5/10確認	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事 録	年度末



自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	3-10U	【学部】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の 教育研究活動の業績を適切に評価する仕組み が機能しましたか。	2017	○	研究・教育活動報告書 2018/6/6確認	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事 録	年度末
	3-10G	【研究科】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の 教育研究活動の業績を適切に評価する仕組み が機能しましたか。	2017	○	研究・教育活動報告書 2018/6/6確認	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事 録	年度末
(8)	3-11U1	【学部】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会 議体(委員会等)・手続きが明文化されています か。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との 適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第14条第4項 検証会議体:専任教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月10日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(学部自己点検委員会)	年度初め
	3-11G1	【研究科】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会 議体(委員会等)・手続きが明文化されています か。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との 適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第77条第1項第1号および第2号 検証会議体:博士前期課程委員会/修士課程委員会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第1号および第2号 検証会議体:博士後期課程委員会/博士課程委員会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月10日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(学部自己点検委員会)  【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月10日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(学部自己点検委員会)	年度初め
	3-11U2	【学部】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続き に従って定期的に検証され、その結果は改善に つながっていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との 適合性 など	2017	○	従来から運用により柔軟に対応しており、それが規範とし て確立している。	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事 録	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	3-11G2	【研究科】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	従来から運用により柔軟に対応しており、それが規範として確立している。	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事録	年度末
(9)	3-12U	【学部】 学部の教員組織の編制方針は適切ですか(※)。  ※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など	2017	○		第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
	3-12G	【研究科】 研究科の教員組織の編制方針は適切ですか(※)。  ※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など	2017	○		第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め

法学部・法学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	3-2U	【学部】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確に されていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学職制規則 その他 学部独自の内規、とりきめ等		年度初め
	3-2G	【研究科】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確に されていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学職制規則 その他 研究科独自の内規、とりきめ等		年度初め
(2)	3-4U	【学部】 学部の教育研究上の目的を実現するために、学 部の教員組織の編制方針が定められ、かつ教 職員で共有していますか。	2017	×	【学部】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a>		年度初め
	3-4G	【研究科】 研究科の教育研究上の目的を実現するために、 研究科の教員組織の編制方針が定められ、か つ教職員で共有していますか。	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a>		年度初め
(3)	3-5U	【学部】 法令(大学設置基準等)によって定められた学科 ごとに必要な専任教員数等が把握され、その数 は満たされていますか。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課6 学部の教員組織」		年度初め
	3-5G	【研究科】 法令(大学院設置基準、専門職大学院設置基準 等)によって定められた専攻ごとに必要な専任教 員数等が把握され、その数は満たされています か。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課7 ★大学院研究科の教員組織」 大学資料集「庶務課8 ★専門職大学院の教員組織」		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	3-7U	【学部】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学設置基準第7条第3項(大学は、教育研 究水準の維持向上及び教育研究の活性化を 図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著 しく偏ることのないよう配慮するものとする。)を踏 まえていること。	2017	×	【学部】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/ 確認日:( )		年度初め
	3-7G	【研究科】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学院設置基準第8条第5項(大学院は、教育 研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を 図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に 著しく偏ることのないよう配慮するものとする。)を ふまえていること。	2017	×	【研究科】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/ 確認日:( )		年度初め
(6)	3-8U1	【学部】 教員の募集・採用について、学部独自の基準、 手続がある場合、それが明文化され、その適切 性・透明性が担保されるように取り組みました か。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等		年度末
	3-8G1	【研究科】 教員の募集・採用について、研究科独自の基 準、手続がある場合、それが明文化され、その 適切性・透明性が担保されるように取り組みまし たか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	3-8U2	【学部】 教員の昇格について、学部独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等		年度末
	3-8G2	【研究科】 教員の昇格について、研究科独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等		年度末
(7)	3-10U	【学部】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の教育研究活動の業績を適切に評価する仕組みが機能しましたか。	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等		年度末
	3-10G	【研究科】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の教育研究活動の業績を適切に評価する仕組みが機能しましたか。	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(8)	3-11U1	【学部】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第14条第4項 検証会議体:専任教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	3-11G1	【研究科】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第77条第1項第1号および第2号 検証会議体:博士前期課程委員会/修士課程委員会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第1号および第2号 検証会議体:博士後期課程委員会/博士課程委員会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )  【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	3-11U2	【学部】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	×	【学部】 第●回専任教授会議題・議事録等 検証会議体:専任教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	3-11G2	【研究科】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	×	【修士・博士前期】 第●回議題・議事録等 検証会議体:博士前期課程委員会/修士課程委員会  【博士後期・一貫制博士】 第●回議題・議事録等 検証会議体:博士後期課程委員会/博士課程委員会	【修士・博士前期】 委任先議題・議事録等  【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(9)	3-12U	<p>【学部】 学部の教員組織の編制方針は適切ですか (※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社 会、文部科学省、大学基準協会等)の要請に あっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやす いか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自 己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等		年度初め
	3-12G	<p>【研究科】 研究科の教員組織の編制方針は適切ですか (※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社 会、文部科学省、大学基準協会等)の要請に あっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやす いか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自 己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等		年度初め



経営学部・経営学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	3-2U	【学部】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確に されていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学職制規則 その他 学部独自の内規、とりきめ等		年度初め
	3-2G	【研究科】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確に されていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学職制規則 その他 研究科独自の内規、とりきめ等		年度初め
(2)	3-4U	【学部】 学部の教育研究上の目的を実現するために、学 部の教員組織の編制方針が定められ、かつ教 職員で共有していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a>		年度初め
	3-4G	【研究科】 研究科の教育研究上の目的を実現するために、 研究科の教員組織の編制方針が定められ、か つ教職員で共有していますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a>		年度初め
(3)	3-5U	【学部】 法令(大学設置基準等)によって定められた学科 ごとに必要な専任教員数等が把握され、その数 は満たされていますか。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課6 学部の教員組織」		年度初め
	3-5G	【研究科】 法令(大学院設置基準、専門職大学院設置基準 等)によって定められた専攻ごとに必要な専任教 員数等が把握され、その数は満たされています か。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課7 ★大学院研究科の教員組織」 大学資料集「庶務課8 ★専門職大学院の教員組織」		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	3-7U	【学部】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学設置基準第7条第3項(大学は、教育研 究水準の維持向上及び教育研究の活性化を 図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著 しく偏ることのないよう配慮するものとする。)を踏 まえていること。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/">http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め
	3-7G	【研究科】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学院設置基準第8条第5項(大学院は、教育 研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を 図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に 著しく偏ることのないよう配慮するものとする。)を ふまえていること。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/">http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め
(6)	3-8U1	【学部】 教員の募集・採用について、学部独自の基準、 手続がある場合、それが明文化され、その適切 性・透明性が担保されるように取り組みました か。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等		年度末
	3-8G1	【研究科】 教員の募集・採用について、研究科独自の基 準、手続がある場合、それが明文化され、その 適切性・透明性が担保されるように取り組みまし たか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	3-8U2	【学部】 教員の昇格について、学部独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等		年度末
	3-8G2	【研究科】 教員の昇格について、研究科独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等		年度末
(7)	3-10U	【学部】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の教育研究活動の業績を適切に評価する仕組みが機能しましたか。	2017	×			年度末
	3-10G	【研究科】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の教育研究活動の業績を適切に評価する仕組みが機能しましたか。	2017	×			年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(8)	3-11U1	【学部】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第14条第4項 検証会議体:専任教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	3-11G1	【研究科】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第77条第1項第1号および第2号 検証会議体:博士前期課程委員会/修士課程委員会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第1号および第2号 検証会議体:博士後期課程委員会/博士課程委員会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )  【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	3-11U2	【学部】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【学部】 第1回専任教授会議題・議事録等 検証会議体:専任教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	3-11G2	【研究科】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】 第13回議題・議事録等 検証会議体:博士前期課程委員会/修士課程委員会  【博士後期・一貫制博士】 第13回議題・議事録等 検証会議体:博士後期課程委員会/博士課程委員会	【修士・博士前期】 委任先議題・議事録等  【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(9)	3-12U	<p>【学部】 学部の教員組織の編制方針は適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>・専任教授会議題・議事録等 検証会議体: 専任教授会 ・学部パンフレット(カリキュラム・教員紹介)</p>		年度初め
	3-12G	<p>【研究科】 研究科の教員組織の編制方針は適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>・学部専任教授会議題・議事録、研究科教授会議題・議事録等 検証会議体: 学部専任教授会および研究科教授会</p>		年度初め

国際政治経済学部・国際政治経済学研究科

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	3-2U	【学部】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確に されていますか。	2017	○	【学部】 『青山学院大学職制規則』 <a href="https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/soumu/JoureiV5HTMLContents/act/frame/frame110000433.htm">https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/soumu/JoureiV5HTMLContents/act/frame/frame110000433.htm</a>	2016年度第18回国際政治経済学部教授会 (2017/3/10)協議事項13.(学24-1)『2017年度国際 政治経済学部・研究科諸委員(案)』	年度初め
	3-2G	【研究科】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確に されていますか。	2017	○	【研究科】 『青山学院大学職制規則』 <a href="https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/soumu/JoureiV5HTMLContents/act/frame/frame110000433.htm">https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/soumu/JoureiV5HTMLContents/act/frame/frame110000433.htm</a>	2016年度第18回国際政治経済学部教授会 (2017/3/10)協議事項13.(学24-1)『2017年度国際 政治経済学部・研究科諸委員(案)』	年度初め
(2)	3-4U	【学部】 学部の教育研究上の目的を実現するために、学 部の教員組織の編制方針が定められ、かつ教 職員で共有していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a>	2017年度第1回国際政治経済学部教授会 (2017/4/19)報告事項3.(学3「国際政治経済学部・ 研究科『教員組織の編成方針』の共有について」)	年度初め
	3-4G	【研究科】 研究科の教育研究上の目的を実現するために、 研究科の教員組織の編制方針が定められ、か つ教職員で共有していますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a>	2017年度第1回国際政治経済学部教授会 (2017/4/19)報告事項3.(学3「国際政治経済学部・ 研究科『教員組織の編成方針』の共有について」)	年度初め
(3)	3-5U	【学部】 法令(大学設置基準等)によって定められた学科 ごとに必要な専任教員数等が把握され、その数 は満たされていますか。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課6 学部の教員組織」 <a href="https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/d-gakuchou/jikotenken-hyouka/shiryoushu/shiryo2017/1.shomuka/shomuka6.pdf">https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/d-gakuchou/jikotenken-hyouka/shiryoushu/shiryo2017/1.shomuka/shomuka6.pdf</a>		年度初め
	3-5G	【研究科】 法令(大学院設置基準、専門職大学院設置基準 等)によって定められた専攻ごとに必要な専任教 員数等が把握され、その数は満たされています か。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課7 ★大学院研究科の教員組織」 <a href="https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/d-gakuchou/jikotenken-hyouka/shiryoushu/shiryo2017/1.shomuka/shomuka7.pdf">https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/d-gakuchou/jikotenken-hyouka/shiryoushu/shiryo2017/1.shomuka/shomuka7.pdf</a>		年度初め



自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	3-7U	【学部】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学設置基準第7条第3項(大学は、教育研 究水準の維持向上及び教育研究の活性化を 図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に 著しく偏ることのないよう配慮するものとし る。)を踏まえていること。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/d-gakuchou/jikotenken- hyouka/shiryoushu/shiryo2017/1.shomuka/shomuka9.pdf 大学ホームページ「専任教員紹介」 http://www.aoyama.ac.jp/faculty/sippec/staff.html 確認日:(2017/5/16)		年度初め
	3-7G	【研究科】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学院設置基準第8条第5項(大学院は、教育 研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を 図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に 著しく偏ることのないよう配慮するものとし る。)をふまえていること。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/d-gakuchou/jikotenken- hyouka/shiryoushu/shiryo2017/1.shomuka/shomuka9.pdf 大学ホームページ「専任教員紹介」 http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_sippec/staff.ht ml 確認日:(2017/5/16)		年度初め
(6)	3-8U1	【学部】 教員の募集・採用について、学部独自の基準、 手続がある場合、それが明文化され、その適切 性・透明性が担保されるように取り組みまし たか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等	2017年度第11回国際政治経済学部専任教授会 (2017/11/15)協議事項1,2. 2017年度第14回国際政治経済学部専任教授会 (2018/1/17)協議事項1	年度末
	3-8G1	【研究科】 教員の募集・採用について、研究科独自の基 準、手続がある場合、それが明文化され、その 適切性・透明性が担保されるように取り組みま したか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○			年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	3-8U2	【学部】 教員の昇格について、学部独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 国際政治経済学部専任教員昇任人事基準		年度末
	3-8G2	【研究科】 教員の昇格について、研究科独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 国際政治経済学部専任教員昇任人事基準		年度末
(7)	3-10U	【学部】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の教育研究活動の業績を適切に評価する仕組みが機能しましたか。	2017	○		国際政治経済学部専任教員昇任人事基準1.(1)① 青山学院学術賞候補者の推薦	年度末
	3-10G	【研究科】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の教育研究活動の業績を適切に評価する仕組みが機能しましたか。	2017	○		国際政治経済学部専任教員昇任人事基準1.(1)① 青山学院学術賞候補者の推薦	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(8)	3-11U1	【学部】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第14条第4項 検証会議体:専任教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等:2016年5月25日付 2016年度国際政治経済学部第3回教授会協議事項2. 左記検証会議体からの委任先:主任会 手続:2016年6月8日付2016年度第4回国際政治経済学部・研究科主任会議題2.「青山学院大学国際政治経済学部・研究科主任会における自己点検・評価の検証事項に関する手続(案)」	年度初め
	3-11G1	【研究科】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	×	【修士・博士前期】 大学院学則第77条第1項第1号および第2号 検証会議体:博士前期課程委員会/修士課程委員会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第1号および第2号 検証会議体:博士後期課程委員会/博士課程委員会		年度初め
	3-11U2	【学部】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○		【学部】 2017年度第17回国際政治経済学部・研究科主任会記録議題2.「自己点検・評価の証事項に関する回答(案)」別添参考資料2	年度末
	3-11G2	【研究科】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	×			年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(9)	3-12U	<p>【学部】 学部の教員組織の編制方針は適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○		<p>【学部】 2017年度第4回国際政治経済学部・研究科主任会記録議題2.「自己点検・評価の検証事項に関する回答(案)」別添参考資料2</p>	年度初め
	3-12G	<p>【研究科】 研究科の教員組織の編制方針は適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○		<p>【研究科】 2017年度第4回国際政治経済学部・研究科主任会記録議題2.「自己点検・評価の検証事項に関する回答(案)」別添参考資料2</p>	年度初め

総合文化政策学部・総合文化政策学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	3-2U	【学部】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確 にされていますか。	2017	×	【学部】 青山学院大学職制規則 その他 学部独自の内規、とりきめ等	2017年度総合文化政策学部・研究科委員等一覧 はあるが、諸委員についての内規等はまだ無い。	年度初め
	3-2G	【研究科】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確 にされていますか。	2017	×	【研究科】 青山学院大学職制規則 その他 研究科独自の内規、とりきめ等	2017年度総合文化政策学部・研究科委員等一覧 はあるが、諸委員についての内規等はまだ無い。	年度初め
(2)	3-4U	【学部】 学部の教育研究上の目的を実現するために、学 部の教員組織の編制方針が定められ、かつ教 職員で共有していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a>	総合文化政策学部教員組織の編成方針に定めら れている。	年度初め
	3-4G	【研究科】 研究科の教育研究上の目的を実現するために、 研究科の教員組織の編制方針が定められ、か つ教職員で共有していますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a>	総合文化政策学研究科教員組織の編成方針に 定められている。	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	3-5U	【学部】 法令(大学設置基準等)によって定められた学 科ごとに必要な専任教員数等が把握され、その 数は満たされていますか。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課6 学部の教員組織」		年度初め
	3-5G	【研究科】 法令(大学院設置基準、専門職大学院設置基準 等)によって定められた専攻ごとに必要な専任 教員数等が把握され、その数は満たされていま すか。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課7 ★大学院研究科の教員組織」 大学資料集「庶務課8 ★専門職大学院の教員組織」		年度初め
(5)	3-7U	【学部】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学設置基準第7条第3項(大学は、教育研 究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図 るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著し く偏ることのないよう配慮するものとする。)を踏 まえていること。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/">http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/</a> 確認日:( 2017年5月22日 )	総合文化政策学部教員組織の編成方針に定めら れている。	年度初め
	3-7G	【研究科】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学院設置基準第8条第5項(大学院は、教育 研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を 図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に 著しく偏ることのないよう配慮するものとする。 をふまえていること。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/">http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/</a> 確認日:( 2017年5月22日 )	総合文化政策学研究科教員組織の編成方針に 定められている。	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	3-8U1	【学部】 教員の募集・採用について、学部独自の基準、 手続がある場合、それが明文化され、その適切 性・透明性が担保されるように取り組みまし たか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等	「総合文化政策学部専任教員任用手続きルール」 に定められている。	年度末
	3-8G1	【研究科】 教員の募集・採用について、研究科独自の基 準、手続がある場合、それが明文化され、その 適切性・透明性が担保されるように取り組みまし たか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等	「総合文化政策学部専任教員任用手続きルール」 に定められている。	年度末
	3-8U2	【学部】 教員の昇格について、学部独自の基準、手続が ある場合、それが明文化され、その適切性・透 明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	×	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等		年度末
	3-8G2	【研究科】 教員の昇格について、研究科独自の基準、手続 がある場合、それが明文化され、その適切性・ 透明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	×	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等		年度末



自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	3-10U	【学部】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の 教育研究活動の業績を適切に評価する仕組み が機能しましたか。	2017	×			年度末
	3-10G	【研究科】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の 教育研究活動の業績を適切に評価する仕組み が機能しましたか。	2017	×			年度末
	3-11U1	【学部】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会 議体(委員会等)・手続きが明文化されていま すか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との 適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第14条第4項 検証会議体:専任教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月25日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( 総合文化政策学部・研究科合同主任会 )	年度初め
	3-11G1	【研究科】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会 議体(委員会等)・手続きが明文化されていま すか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との 適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第77条第1項第1号および第2号 検証会議体:博士前期課程委員会/修士課程委員会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第1号および第2号 検証会議体:博士後期課程委員会/博士課程委員会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月25日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( 総合文化政策学部・研究科合同主任会 )  【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月25日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( 総合文化政策学部・研究科合同主任会 )	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(8)	3-11U2	<p>【学部】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など</p>	2017	○	<p>【学部】 第●回専任教授会議題・議事録等 検証会議体:専任教授会 (第17回学部教授会で実施したため、検証会議体は、学部教授会)</p>	<p>【学部】 委任先議題・議事録等</p>	年度末
	3-11G2	<p>【研究科】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 第●回議題・議事録等 検証会議体:博士前期課程委員会/修士課程委員会 (第17回学部教授会でまとめて実施したため、検証会議体は、学部教授会) 【博士後期・一貫制博士】 第●回議題・議事録等 検証会議体:博士後期課程委員会/博士課程委員会 (第17回学部教授会でまとめて実施したため、検証会議体は、学部教授会)</p>	<p>【修士・博士前期】 委任先議題・議事録等</p> <p>【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等</p>	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(9)	3-12U	<p>【学部】 学部の教員組織の編制方針は適切ですか (※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社 会、文部科学省、大学基準協会等)の要請に あっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすい か。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自 己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○		「教育研究上の目的」、「アドミッションポリシー」、 「教員組織の編成方針」と整合性がとれている。	年度初め
	3-12G	<p>【研究科】 研究科の教員組織の編制方針は適切ですか (※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社 会、文部科学省、大学基準協会等)の要請に あっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすい か。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自 己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○		「教育研究上の目的」、「アドミッションポリシー」、 「教員組織の編成方針」と整合性がとれている。	年度初め

理工学部・理工学研究科

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	3-2U	【学部】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確に されていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学職制規則 その他 学部独自の内規、とりきめ等	第17回理工学部教授会議事録 2017年3月10日	年度初め
	3-2G	【研究科】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確に されていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学職制規則 その他 研究科独自の内規、とりきめ等	第17回理工学部教授会議事録 2017年3月10日	年度初め
(2)	3-4U	【学部】 学部の教育研究上の目的を実現するために、学 部の教員組織の編制方針が定められ、かつ教 職員で共有していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a>	第19回学科主任会 2017年3月9日 第17回教授会 2017年3月10日	年度初め
	3-4G	【研究科】 研究科の教育研究上の目的を実現するために、 研究科の教員組織の編制方針が定められ、か つ教職員で共有していますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a>	第17回専攻コース主任会 2017年1月11日 第14回研究科教授会 2017年1月11日 機能物質創成:2017年5月17日確認	年度初め
(3)	3-5U	【学部】 法令(大学設置基準等)によって定められた学科 ごとに必要な専任教員数等が把握され、その数 は満たされていますか。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課6 学部の教員組織」	大学資料集確認 2017年5月29日 第4回専任教員会 2017年1月11日	年度初め
	3-5G	【研究科】 法令(大学院設置基準、専門職大学院設置基準 等)によって定められた専攻ごとに必要な専任教 員数等が把握され、その数は満たされています か。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課7 ★大学院研究科の教員組織」 大学資料集「庶務課8 ★専門職大学院の教員組織」	大学資料集確認 2017年5月29日 第17回専攻コース教務主任会 2017年1月11日 第1回博士前期課程委員会 2017年1月11日 第3回博士後期課程委員会 2017年1月11日 追記	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会  
担当部署/担当者: 学務課(相)  
評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	3-7U	【学部】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学設置基準第7条第3項(大学は、教育研 究水準の維持向上及び教育研究の活性化を 図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著 しく偏ることのないよう配慮するものとする。)を踏 まえていること。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 確認日:2017年5月29日 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/">http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/</a> 確認日:2017年5月9日	第19回学科主任会 2017年3月9日 2017年3月9 日	年度初め
	3-7G	【研究科】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学院設置基準第8条第5項(大学院は、教育 研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を 図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に 著しく偏ることのないよう配慮するものとする。)を ふまえていること。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 確認日:2017年5月29日 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/">http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/</a> 確認日:2017年4月20日	第17回専攻コース主任会 2017年1月11日  機能物質:2017年4月21日確認	年度初め
(6)	3-8U1	【学部】 教員の募集・採用について、学部独自の基準、 手続がある場合、それが明文化され、その適切 性・透明性が担保されるように取り組みました か。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等	第8回専任教授会 2017年11月8日 第7回主任会 2017年7月18日 第8回主任会 2017年7月25日 第9回主任会 2017年9月12日 第17回主任会 2018年1月9日 第18回主任会 2018年1月16日 第19回主任会 2018年3月7日	年度末
	3-8G1	【研究科】 教員の募集・採用について、研究科独自の基 準、手続がある場合、それが明文化され、その 適切性・透明性が担保されるように取り組みまし たか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等	第8回専任教授会 2017年11月8日	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会  
担当部署/担当者: 学務課(相)  
評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	3-8U2	【学部】 教員の昇格について、学部独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等	理工学部教員昇任基準(内規:2017年11月7日第13回学科主任会承認)  情テク: 学科会議議事録(2017/10/18)	年度末
	3-8G2	【研究科】 教員の昇格について、研究科独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等	理工学部教員昇任基準(内規:2017年11月7日第13回学科主任会承認)  知能情報: コース会議議事録(2017/10/18)	年度末
	3-10U	【学部】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の教育研究活動の業績を適切に評価する仕組みが機能しましたか。	2017	○		教員情報として研究業績を公開 <a href="http://raweb1.jm.aoyama.ac.jp/aguhp/KgApp?kyoinId=yuibgdgyggy">http://raweb1.jm.aoyama.ac.jp/aguhp/KgApp?kyoinId=yuibgdgyggy</a> 教育活動は卒業研究および授業アンケートの公開 <a href="https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/kyoumu/FD_suishin/enquete_top.html">https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/kyoumu/FD_suishin/enquete_top.html</a>	年度末
	3-10G	【研究科】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の教育研究活動の業績を適切に評価する仕組みが機能しましたか。	2017	○		教員情報として研究業績を公開 <a href="http://raweb1.jm.aoyama.ac.jp/aguhp/KgApp?kyoinId=yuibgdgyggy">http://raweb1.jm.aoyama.ac.jp/aguhp/KgApp?kyoinId=yuibgdgyggy</a> 教育活動は卒業研究および授業アンケートの公開 <a href="https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/kyoumu/FD_suishin/enquete_top.html">https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/kyoumu/FD_suishin/enquete_top.html</a>	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会  
担当部署/担当者: 学務課(相)  
評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(8)	3-11U1	【学部】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第14条第4項 検証会議体: 専任教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月11日付承認 左記検証会議体からの委任先 : 専任教授会 主任会議	年度初め
	3-11G1	【研究科】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第77条第1項第1号および第2号 検証会議体: 博士前期課程委員会/修士課程委員会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第1号および第2号 検証会議体: 博士後期課程委員会/博士課程委員会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月11日付承認 左記検証会議体からの委任先 : 専攻コース主任会  【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月11日付承認 左記検証会議体からの委任先 : 専攻コース主任会	年度初め
	3-11U2	【学部】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【学部】 第9回専任教授会議題・議事録等 検証会議体: 専任教授会 2017年11月29日	【学部】 委任先議題・議事録等 2017年11月7日 第13回主任会 2017年11月29日 第9回専任教授会	年度末
	3-11G2	【研究科】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】 第1回博士前期課程委員会議題・議事録等 検証会議体: 博士前期課程委員会/修士課程委員会 2018年1月17日  【博士後期・一貫制博士】 第3回博士後期課程委員会議題・議事録等 検証会議体: 博士後期課程委員会/博士課程委員会 2018年1月17日	【修士・博士前期】 委任先議題・議事録等 第12回専攻コース教務主任会 2018年1月10日 第1回博士前期課程委員会 2018年1月17日  【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等 第12回専攻コース教務主任会 2018年1月10日 第3回博士後期課程委員会 2018年1月17日	年度末



自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会  
担当部署/担当者: 学務課(相)  
評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(9)	3-12U	<p>【学部】 学部の教員組織の編制方針は適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○		<p>教員組織の編制方針 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic_organization.html#graduate">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic_organization.html#graduate</a></p> <p>第17回教授会 2017年3月10日</p>	年度初め
	3-12G	<p>【研究科】 研究科の教員組織の編制方針は適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○		<p>教員組織の編制方針 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic_organization.html#graduate">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic_organization.html#graduate</a></p> <p>第14回研究科教授会 2017年1月11日</p>	年度初め

社会情報学部・社会情報学研究科

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者： 学務課(相)  
 評価基準： 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	3-2U	【学部】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確 にされていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学職制規則 その他 学部独自の内規、とりきめ等	2016年度 第21回教授会 議案: 2017年度 社会情報学部・研究科 諸委員につ いて	年度初め
	3-2G	【研究科】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確 にされていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学職制規則 その他 研究科独自の内規、とりきめ等	2016年度 第21回教授会 議案: 2017年度 社会情報学部・研究科 諸委 員について	年度初め
(2)	3-4U	【学部】 学部の教育研究上の目的を実現するために、学 部の教員組織の編制方針が定められ、かつ教 職員で共有していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic_organization.html#ssi">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic_organization.html#ssi</a> 確認日(2017.04.13)		年度初め
	3-4G	【研究科】 研究科の教育研究上の目的を実現するために、 研究科の教員組織の編制方針が定められ、か つ教職員で共有していますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a> 確認日(2017.04.29)		年度初め
(3)	3-5U	【学部】 法令(大学設置基準等)によって定められた学 科ごとに必要な専任教員数等が把握され、その 数は満たされていますか。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課6 学部の教員組織」		年度初め
	3-5G	【研究科】 法令(大学院設置基準、専門職大学院設置基 準等)によって定められた専攻ごとに必要な専 任教員数等が把握され、その数は満たされてい ますか。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課7 ★大学院研究科の教員組織」 大学資料集「庶務課8 ★専門職大学院の教員組織」		年度初め

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者： 学務課(相)  
 評価基準： 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	3-7U	【学部】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学設置基準第7条第3項(大学は、教育研 究水準の維持向上及び教育研究の活性化を 図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著 しく偏ることのないよう配慮するものとする。)を踏 まえていること。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/">http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/</a> 確認日:(2017/04/20)		年度初め
	3-7G	【研究科】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学院設置基準第8条第5項(大学院は、教育 研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を 図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に 著しく偏ることのないよう配慮するものとする。)を ふまえていること。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/ssi/staff.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/ssi/staff.html</a> 確認日:(2017.04.13)		年度初め
	3-8U1	【学部】 教員の募集・採用について、学部独自の基準、 手続がある場合、それが明文化され、その適切 性・透明性が担保されるように取り組みました か。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等 社会情報学部専任教授会記録		年度末
	3-8G1	【研究科】 教員の募集・採用について、研究科独自の基 準、手続がある場合、それが明文化され、その 適切性・透明性が担保されるように取り組みまし たか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者： 学務課(相)  
 評価基準： 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	3-8U2	【学部】 教員の昇格について、学部独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等 社会情報学部昇任基準(2016.第一回専任教授会承認) 社会情報学部専任教授会記録		年度末
	3-8G2	【研究科】 教員の昇格について、研究科独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等		年度末
(7)	3-10U	【学部】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の教育研究活動の業績を適切に評価する仕組みが機能しましたか。	2017	○		【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等 2017年度第1回社会情報学部教授会 「2017年度青山学院学術賞受賞候補者の推薦について」として募集要項・規則等 2017年度第4回社会情報学部教授会 「2017年度青山学院学術賞受賞候補者の推薦の件」で報告(申請なし)	年度末
	3-10G	【研究科】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の教育研究活動の業績を適切に評価する仕組みが機能しましたか。	2017	○		学部独自の内規、とりきめ 等 2017年度第1回社会情報学部教授会 「2017年度青山学院学術賞受賞候補者の推薦締切について」として募集 2017年度第4回社会情報学部教授会 「2017年度青山学院学術賞受賞候補者の推薦の件」(申請なし)	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(8)	3-11U1	【学部】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第14条第4項 検証会議体:専任教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	3-11G1	【研究科】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第77条第1項第1号および第2号 検証会議体:博士前期課程委員会/修士課程委員会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第1号および第2号 検証会議体:博士後期課程委員会/博士課程委員会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )  【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	3-11U2	【学部】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【学部】 第1回専任教授会議題・議事録等 検証会議体:専任教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	3-11G2	【研究科】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【修士・博士前期】 第1回専任教授会議題・議事録等 検証会議体:学部専任教授会  【博士後期・一貫制博士】 第1回専任教授会議題・議事録等 検証会議体:学部専任教授会	【修士・博士前期】 委任先議題・議事録等  【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等	年度末

## 自己点検・評価チェックリスト

**担当委員会:** 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
**担当部署/担当者:** 学務課(相)  
**評価基準:** 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(9)	3-12U	<b>【学部】</b> 学部の教員組織の編制方針は適切ですか (※)。  ※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社 会、文部科学省、大学基準協会等)の要請に あっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすい か。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など  適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自 己点検・評価委員会へ報告してください。	2017	○		・教務委員会(2016年度13回開催)にて、担当科 目の担当教員、カリキュラムをを検討。その後教 授会にてを決定。 ・新年次履修ガイダンスにて各教員の研究分野を 紹介。合わせて学部のホームページにて公開 ・専任教授会にて教員編成方針を検討(2016年 度15回開催)	年度初め
	3-12G	<b>【研究科】</b> 研究科の教員組織の編制方針は適切ですか (※)。  ※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社 会、文部科学省、大学基準協会等)の要請に あっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすい か。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など  適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自 己点検・評価委員会へ報告してください。	2017	○		・学部専任教授会にて教員編成方針を検討(201 6年度15回開催)	年度初め

地球社会共生学部



自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 地球社会共生学部自己点検・評価委員会

担当部署/担当者： 学務課(相)

評価基準： 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	3-2U	【学部】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確 にされていますか。	2017	○	【学部】 青山学院大学職制規則 その他 学部独自の内規、とりきめ等	「2017(平成29)年度 地球社会共生学部 諸委 員」 (2016年度第21回教授会資料)	年度初め
(2)	3-4U	【学部】 学部の教育研究上の目的を実現するために、学 部の教員組織の編制方針が定められ、かつ教 職員で共有していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a> (確認日:2017/04/18)	「地球社会共生学部 教員組織の編制方針」 (2015年度第4回教授会資料)	年度初め
(3)	3-5U	【学部】 法令(大学設置基準等)によって定められた学 科ごとに必要な専任教員数等が把握され、その 数は満たされていますか。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課6 学部の教員組織」		年度初め
(5)	3-7U	【学部】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学設置基準第7条第3項(大学は、教育研 究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図 るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著し く偏ることのないよう配慮するものとする。)を踏 まえていること。	2017	○	【学部】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/">http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/</a> 確認日:(2017/04/18)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 地球社会共生学部自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	3-8U1	【学部】 教員の募集・採用について、学部独自の基準、 手続がある場合、それが明文化され、その適切 性・透明性が担保されるよう取り組みました か。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等 第6回専任教授会(2017年11月29日) 「地球社会共生学部 後任人事手続きに関する申し合 わせについて」 「地球社会共生学部所属助教選考に関する申し合 わせについて」		年度末
	3-8U2	【学部】 教員の昇格について、学部独自の基準、手続が ある場合、それが明文化され、その適切性・透 明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 学部独自の内規、とりきめ 等 第6回専任教授会(2017年11月29日) 「地球社会共生学部教授昇任審査手続きに関する申し合 わせについて」		年度末
(7)	3-10U	【学部】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の 教育研究活動の業績を適切に評価する仕組み が機能しましたか。	2017	×			年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 地球社会共生学部自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(8)	3-11U1	【学部】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【学部】 大学学則第14条第4項 検証会議体:専任教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2016年4月20日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(主任会)	年度初め
	3-11U2	【学部】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など	2017	○	【学部】 第3回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等 第3回主任会(2017年5月24日) 「地球社会共生学部自己点検評価に関する主任会の検証事項と検証手続きについて」	年度末
(9)	3-12U	【学部】 学部の教員組織の編制方針は適切ですか(※)。  ※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など  適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。	2017	○		学部HP 「2017(平成29)年度 地球社会共生学部 諸委員」(2016年度第21回教授会資料)	年度初め

国際マネジメント研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者： 学務部

評価基準： 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	3-2G	【研究科】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確 にされていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学職制規則 その他 研究科独自の内規、とりきめ等	教授会配付資料「2017年度 諸委員委嘱につ いて」	年度初め
(2)	3-4G	【研究科】 研究科の教育研究上の目的を実現するために、 研究科の教員組織の編制方針が定められ、か つ教職員で共有していますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a>		年度初め
(3)	3-5G	【研究科】 法令(大学院設置基準、専門職大学院設置基準 等)によって定められた専攻ごとに必要な専任教 員数等が把握され、その数は満たされています か。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課7 ★大学院研究科の教員組織」 大学資料集「庶務課8 ★専門職大学院の教員組織」		年度初め
(5)	3-7G	【研究科】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学院設置基準第8条第5項(大学院は、教育 研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を 図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に 著しく偏ることのないよう配慮するものとする。 をふまえていること。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/">http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/</a> 確認日:( 2017/5/31 )	研究科ホームページ「教員紹介」 <a href="http://www.aoyamabs.jp/facultyandresearch/index.html">http://www.aoyamabs.jp/facultyandresearch/index.html</a>	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者： 学務部  
 評価基準： 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	3-8G1	【研究科】 教員の募集・採用について、研究科独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等	教員の募集・採用について、明文化された基準・手続はない	年度末
	3-8G2	【研究科】 教員の昇格について、研究科独自の基準、手続がある場合、それが明文化され、その適切性・透明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等	【研究科】2017年度第7回国際マネジメント研究科専任教授会で承認基準について議論し、「研究業績・教育実績に関して他の承認人事との公平性を考慮しながら、審議を行ない、昇任に相応しいと判断した場合には、昇任人事の推薦を行う」との基準を作成した	年度末
(7)	3-10G	【研究科】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の教育研究活動の業績を適切に評価する仕組みが機能しましたか。	2017	○		過去1年間の教育・研究活動等に関する活動の振り返りと、今後1年間の教育・研究活動等の計画について研究科長・教務主任等と話し合う Performance & Development面談を実施している。	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(8)	3-11G1	<p>【研究科】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など</p>	2017	○	<p>【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第7号、第57条の2第4項 検証会議体:研究科教授会、専任教授会</p> <p>【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第1号および第2号 検証会議体:博士後期課程委員会/博士課程委員会</p>	<p>(専門職) 2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 2017年5月24日承認 左記検証会議体からの委任先 (国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)</p> <p>(博士後期・一貫制博士) 2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 2017年5月24日承認 左記検証会議体からの委任先 (国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)</p>	年度初め
	3-11G2	<p>【研究科】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など</p>	2017	○	<p>【専門職】 2018年度第3回研究科教授会議題・議事録等</p> <p>【博士後期・一貫制博士】 2018年度第3回研究科教授会議題・議事録等</p>	<p>【専門職】 2018年度第2回国際マネジメント研究科教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 :2018年5月23日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)</p> <p>【博士後期・一貫制博士】 2018年度第2回国際マネジメント研究科教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 :2018年5月23日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)</p>	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者： 学務部

評価基準： 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(9)	3-12G	<p>【研究科】 研究科の教員組織の編制方針は適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○		<p>【専門職】 2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)</p> <p>【博士後期・一貫制博士】 2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)</p>	年度初め



# 法務研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 法務研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者： 学務部専門職大学院教務課

評価基準： 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	3-2G	【研究科】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確に されていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学職制規則 青山学院大学専門職大学院学則		年度初め
(2)	3-4G	【研究科】 研究科の教育研究上の目的を実現するために、 研究科の教員組織の編制方針が定められ、か つ教職員で共有していますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a>		年度初め
(3)	3-5G	【研究科】 法令(大学院設置基準、専門職大学院設置基準 等)によって定められた専攻ごとに必要な専任教 員数等が把握され、その数は満たされています か。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課7 ★大学院研究科の教員組織」 大学資料集「庶務課8 ★専門職大学院の教員組織」		年度初め
(5)	3-7G	【研究科】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学院設置基準第8条第5項(大学院は、教育 研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を 図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に 著しく偏ることのないよう配慮するものとする。 をふまえていること。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/">http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/</a> 確認日:( 6/5 )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 法務研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者： 学務部専門職大学院教務課

評価基準： 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	3-8G1	【研究科】 教員の募集・採用について、研究科独自の基 準、手続がある場合、それが明文化され、その 適切性・透明性が担保されるように取り組みまし たか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○			年度末
	3-8G2	【研究科】 教員の昇格について、研究科独自の基準、手続 がある場合、それが明文化され、その適切性・透 明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○			年度末
(7)	3-10G	【研究科】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の 教育研究活動の業績を適切に評価する仕組み が機能しましたか。	2017	○		青山学院大学大学院法務研究科FD規程	年度末
(8)	3-11G1	【研究科】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会 議体(委員会等)・手続が明文化されています か。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との 適合性 など	2017	○	【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第7号、第57条の2第4項 検証会議体：研究科教授会、専任教授会	【専門職】 青山学院大学大学院法務研究科主任会規程 左記検証会議体からの委任先：( 法務研究科主 任会 )	年度初め
	3-11G2	【研究科】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続 に従って定期的に検証され、その結果は改善に つながっていますか。  ※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との 適合性 など	2017	○			年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 法務研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者： 学務部専門職大学院教務課

評価基準： 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(9)	3-12G	<p>【研究科】 研究科の教員組織の編制方針は適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○		<p>法務研究科自己点検・評価報告書 青山学院大学大学院法務研究科主任会規程</p>	年度初め

会計プロフェッション研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	3-2G	【研究科】 組織的な教育を実施する上において必要な役職 や諸委員が配置され、その責任の所在が明確に されていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学職制規則 第19回研究科教授会協議事項4		年度初め
(2)	3-4G	【研究科】 研究科の教育研究上の目的を実現するために、 研究科の教員組織の編制方針が定められ、か つ教職員で共有していますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「求める教員像および教員組織の編制 方針」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/self_study/policy/academic.html</a>		年度初め
(3)	3-5G	【研究科】 法令(大学院設置基準、専門職大学院設置基準 等)によって定められた専攻ごとに必要な専任教 員数等が把握され、その数は満たされています か。	2017	×	【研究科】 大学資料集「庶務課7 ★大学院研究科の教員組織」 大学資料集「庶務課8 ★専門職大学院の教員組織」 2016年度第19回研究科教授会協議事項5、2017年度第3 回研究科教授会協議事項5		年度初め
(5)	3-7G	【研究科】 教員組織の編制方針と実際の教員組織の編制 実態と整合性がとれていますか。  ※大学院設置基準第8条第5項(大学院は、教育 研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を 図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に 著しく偏ることのないよう配慮するものとする。 をふまえていること。	2017	○	【研究科】 大学資料集「庶務課9 専任教員年齢構成」 大学ホームページ「専任教員紹介」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/">http://www.aoyama.ac.jp/research/staff/</a> 確認日:(2017年5月19日) 2016年度第19回研究科教授会協議事項5、2017年度第3 回研究科教授会協議事項5	会計プロフェッション研究科ホームページ「教員・ スタッフ紹介」 <a href="http://www.gspa.aoyama.ac.jp/about/staffs.html">http://www.gspa.aoyama.ac.jp/about/staffs.html</a> 確認日:(2017年5月19日)	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	3-8G1	【研究科】 教員の募集・採用について、研究科独自の基 準、手続がある場合、それが明文化され、その 適切性・透明性が担保されるよう取り組みまし たか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 研究科独自の内規、とりきめ 等		年度末
	3-8G2	【研究科】 教員の昇格について、研究科独自の基準、手続 がある場合、それが明文化され、その適切性・透 明性が担保されるよう取り組みましたか。  ※独自の基準、手続がまったくない場合、便宜 上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 「会計プロフェッション研究科 准教授から教授への昇任 に関する内規」		年度末
(7)	3-10G	【研究科】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の 教育研究活動の業績を適切に評価する仕組み が機能しましたか。	2017	○		「青山学院大学会計プロフェッション研究科2016 年度自己点検評価報告書」	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(8)	3-11G1	<p>【研究科】 教員組織の適切性(※)を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など</p>	2017	○	<p>【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第7号、第57条の2第4項「会計プロフェッション研究科教員組織の適切性確保手続のための内規」 検証会議体: 研究科教授会、専任教授会</p> <p>【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第1号および第2号 検証会議体: 博士後期課程委員会/博士課程委員会</p>		年度初め
	3-11G2	<p>【研究科】 教員組織の適切性(※)は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。</p> <p>※適切性の視点 ・求める教員像および教員組織の編制方針との適合性 など</p>	2017	○	<p>【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第10号 2017年度第3回研究科教授会協議事項5、2017年度第6回研究科教授会協議事項4 検証会議体: 研究科教授会</p> <p>【博士後期・一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第1号および第2号 検証会議体: 博士後期課程委員会/博士課程委員会</p>	<p>【専門職】 委任先議題・議事録等</p> <p>【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等</p>	年度末
(9)	3-12G	<p>【研究科】 研究科の教員組織の編制方針は適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	2016年度第19回研究科教授会協議事項5、2017年度第3回研究科教授会協議事項5		年度初め



庶務部

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会:

担当部署/担当者: 庶務部

評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	3-1W1	【大学全体】 採用の基準等において、教員に求める能力・資 質等が明らかにされていますか。  ※学校教育法第92条、その他大学設置基準、大 学院設置基準、専門職大学院設置基準等の関 連法令に定める教員の資格要件等を踏まえてい ること。	2017	○	【大学全体】 青山学院大学専任教員の任用及び昇任に関する規則	青山学院助教規則 青山学院助手規則 青山学院大学特別任用教員の任用資格、任用手 続及び職務等に関する規則 青山学院大学専任待遇外国人教員任用規則 青山学院大学宗教部長及び大学宗教主任に関す る規則 青山学院キリスト教教育・活動に関する規則	年度初め
	3-1W2	【大学全体】 昇格の基準等において、教員に求める能力・資 質等が明らかにされていますか。  ※学校教育法第92条、その他大学設置基準、大 学院設置基準、専門職大学院設置基準等の関 連法令に定める教員の資格要件等を踏まえてい ること。	2017	○	【大学全体】 青山学院大学専任教員の任用及び昇任に関する規則	青山学院助教規則 青山学院助手規則 青山学院大学専任待遇外国人教員任用規則 青山学院大学宗教部長及び大学宗教主任に関す る規則	年度初め
(2)	3-2W	【大学全体】 組織的な教育を実施する上において必要な役割 分担(役職)が割り当てられ、その責任の所在が 明確にされていますか。	2017	○	【大学全体】 青山学院大学職制規則	青山学院大学宗教部長及び大学宗教主任に関す る規則	年度初め
(3)	3-8W1	【大学全体】 教員の募集・採用について、基準、手続が明文化 され、その適切性・透明性が担保されるように 取り組みましたか。	2017	○	【大学全体】 青山学院大学専任教員の任用及び昇任に関する規則		年度末
	3-8W2	【大学全体】 教員の昇格について、基準、手続が明文化さ れ、その適切性・透明性が担保されるよう取り組 みましたか。	2017	×	【大学全体】 青山学院大学専任教員の任用及び昇任に関する規則		年度末
(4)	3-10W	【大学全体】 教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の 教育研究活動の業績を適切に評価する仕組み が機能しましたか。	2017	×	【大学全体】 青山学院学術賞規則 青山学院学術賞施行細則		年度末

全学FD委員会

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 全学FD委員会  
 担当部署/担当者: 学務部、学務課(相模原)  
 評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※両キャンパスができて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日・会議開催日等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日・会議開催日等を記入)	チェック可能時期
(1)	3-9W	<p>【大学全体】                      教育研究、その他の諸活動(※)に関する教員の資質向上を図るための研修等を恒常的かつ適切に行いましたか。</p> <p>※社会貢献、管理業務などを含む教員に求められる様々な活動(授業方法の改善等、教育内容・方法の向上を意図した取り組みについては、「基準IV-3」で取り扱う)</p>	2017	○	<p>【大学全体】                      研修会等の内容、対象、参加数、開催頻度等が分かる資料</p>	<p>①2017/4/3 第1回新任教職員研修会                      ②2017/6/14 第1回FD講演会                      ③2017/6/28 第7回教員のための英語研修                      ④2017/7/12 第8回教員のための英語研修                      ⑤2017/9/11 第2回新任教職員研修会</p>	年度末
(2)	3-10W	<p>【大学全体】                      教育・研究活動が活性化するよう、教員個人の教育研究活動の業績を適切に評価する仕組みが機能しましたか。</p>	2017	×	<p>【大学全体】                      青山学院学術賞規則                      青山学院学術賞施行細則</p>		年度末

研究推進部

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会:

担当部署/担当者: 研究推進部

評価基準: 3(教員・教員組織)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	3-9W	<p>【大学全体】 教育研究、その他の諸活動(※)に関する教員の資質向上を図るための研修等を恒常的かつ適切に行いましたか。</p> <p>※社会貢献、管理業務などを含む教員に求められる様々な活動(授業方法の改善等、教育内容・方法の向上を意図した取り組みについては、「基準IV-3」で取り扱う)</p>	2017	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・青山学院大学公的研究費に関するコンプライアンス研修実施概要</li> <li>・公的研究費に関するコンプライアンス研修実施報告書</li> <li>・平成29年度「公的研究費に関するコンプライアンス研修」出席票、理解度チェックシート</li> <li>・体制整備等自己評価チェックリスト</li> </ul>	年度末